

野川第一・第二調節池地区の自然再生全体構想の中で、自然再生の方向性として以下の事が記されています。（抜粋）

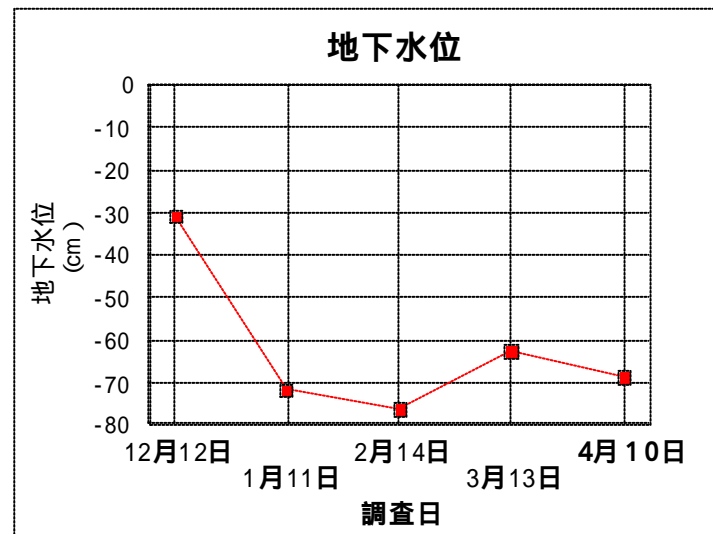
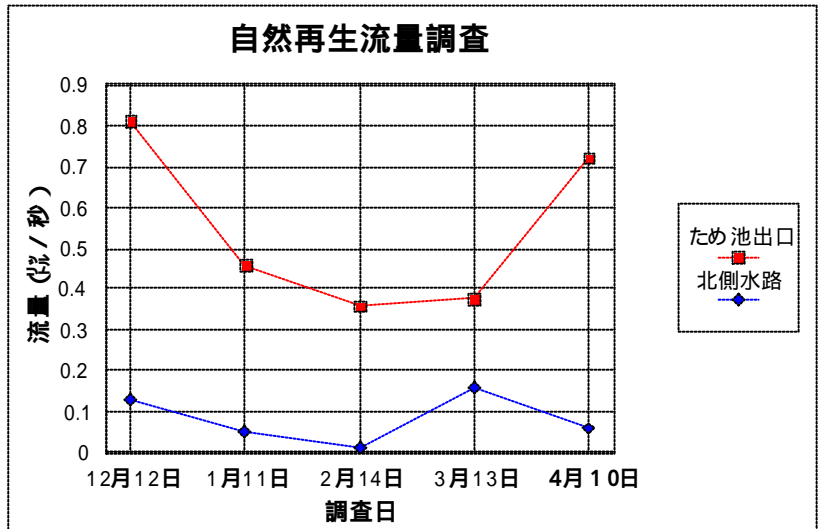
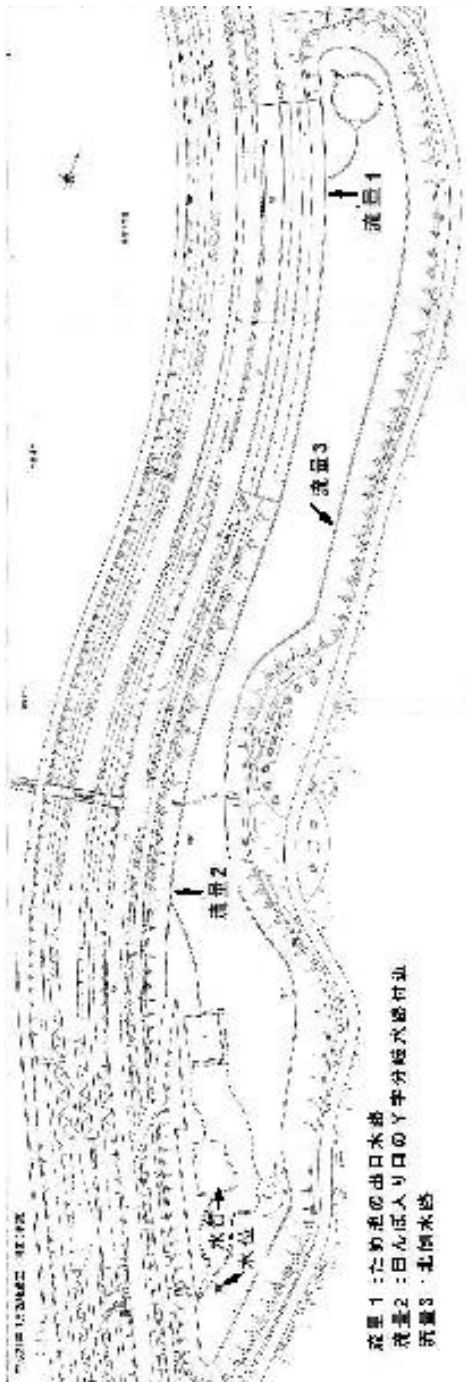
- ・野川地域の湧水等と連携した水環境システムを再生・整備する。
- ・自然再生の対象となる区域で水量を確保するとともに、地域の水循環を回復していく。
- ・モニタリングを行いながら、段階的に整備していく。

段階的に水環境を整備して行くためには、利用できる水の量を把握し、それに見合った規模とすることが重要です。

このため、昨年12月より水量を中心とした水の調査を始めました。毎月1回野川から取水する水量や、湧き水など「ハケ」から供給される水量、地下水位などを調べています。

（単位 ㎥/秒）

調査日	ため池出口	北側水路 (わき水)	調節池の 野川吐け口
12月12日	0.81	0.13	未調査
1月11日	0.46	0.05	未調査
2月14日	0.36	0.01	1.2
3月13日	0.38	0.16	1.3
4月10日	0.72	0.06	未調査



湿地の水質；現在まで異常値は無し
（PH、COD、硝酸）